

令和 6 年 4 月 2 6 日

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所、川崎国道事務所、相武国道事務所

令和 6 年度関東地方整備局(神奈川県内)道路関係予算の概要について

横浜国道事務所、川崎国道事務所、相武国道事務所では、神奈川県内の直轄国道等の整備および管理を実施しております。

令和 6 年度は、3 事務所計約 3 7 5 億円で事業を推進します。

< 主要事業の概要 >

【改築事業】

- 国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道 < 横浜国道事務所 >
 - ・金沢～戸塚
 - ・横浜湘南道路
- 国道 246 号 厚木秦野道路 < 横浜国道事務所・川崎国道事務所 >
- 国道 357 号 東京湾岸道路(神奈川県区間) < 横浜国道事務所・川崎国道事務所 >
- 国道 16 号 追浜駅交通ターミナル整備事業 < 横浜国道事務所 >
- 国道 246 号 梶ヶ谷局所渋滞対策 < 横浜国道事務所 > 【R 6 新規事業化】

【交通安全事業】

- 国道 1 号 戸部地区歩道整備 < 横浜国道事務所 >
- 国道 20 号 藤野駅周辺地区歩道整備 < 相武国道事務所 >

【電線共同溝事業】

- 国道 16 号 追浜（2）電線共同溝 < 横浜国道事務所 >
- 国道 20 号 与瀬電線共同溝 < 相武国道事務所 >
- 国道 246 号 有馬（2）電線共同溝 < 横浜国道事務所 > 【R 6 工事着手】
- 国道 246 号 下鶴間（3）電線共同溝 < 横浜国道事務所 > 【R 6 工事着手】
- 国道 357 号 福浦（2）電線共同溝 < 横浜国道事務所 >

< 発表記者クラブ >

竹芝記者クラブ/神奈川建設記者会/神奈川県政記者クラブ/横浜ラジオ・テレビ記者会/川崎記者クラブ

< 問い合わせ先 >

横浜国道事務所 副所長(改築担当) 香田 晃宏 (こうだ あきひろ)

(管理担当) 渡邊 郷史 (わたなべ さとし)

電話：0 4 5 - 2 8 7 - 3 0 0 1 (代表) FAX：0 4 5 - 2 8 7 - 3 0 2 9

川崎国道事務所 副所長(改築担当) 小島 喜一 (おじま きいち)

萩野谷 幸男 (はぎのや ゆきお)

電話：0 4 4 - 8 8 8 - 6 4 1 1 (代表) FAX：0 4 4 - 8 8 8 - 6 7 0 2

相武国道事務所 副所長(改築担当) 今村 忠彦 (いまむら ただひこ)

(管理担当) 岩崎 史明 (いわさき ふみあき)

電話：0 4 2 - 6 4 3 - 2 0 0 1 (代表) FAX：0 4 2 - 6 4 3 - 2 3 2 0

令和6年度 主な神奈川県内直轄事業予算総括表

令和6年度の主な神奈川県内直轄事業の事業別内訳は以下のとおりです。

令和6年度 主な神奈川県内 事業費

(単位: 百万円)

事業名	R6事業費			
	横浜国道	川崎国道	相武国道	合計
改築事業				
国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	4,000 ※1			4,000
国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	18,688 ※1			18,688
国道246号 厚木秦野道路		6,500		6,500
国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)		1,000		1,000
国道1号 新湘南バイパス	50			50
国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	2,170※2			2,170
国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業	100			100
国道16号 横須賀地区トンネル改修	50			50
国道409号 川崎縦貫道路		110		110
国道246号 都筑青葉地区環境整備		450		450
国道1号 神奈川湘南1号環境対策	20			20
国道1号 川崎1号環境整備	45			45
国道16号 神奈川16号環境対策	225 ※3		225 ※3	225
国道246号 神奈川県西部246号環境対策	10			10
国道246号 梶ヶ谷局所渋滞対策	10			10
交通安全事業(Ⅰ種)				
国道1号 戸部地区歩道整備 他8箇所	750		340	1,090
交通安全事業(Ⅱ種)				
国道1号他 区画線、CCTV、情報提供機器 等				647
電線共同溝事業				
国道246号 下鶴間(3)電線共同溝 他38箇所	2,057		266	2,323
合 計				37,488

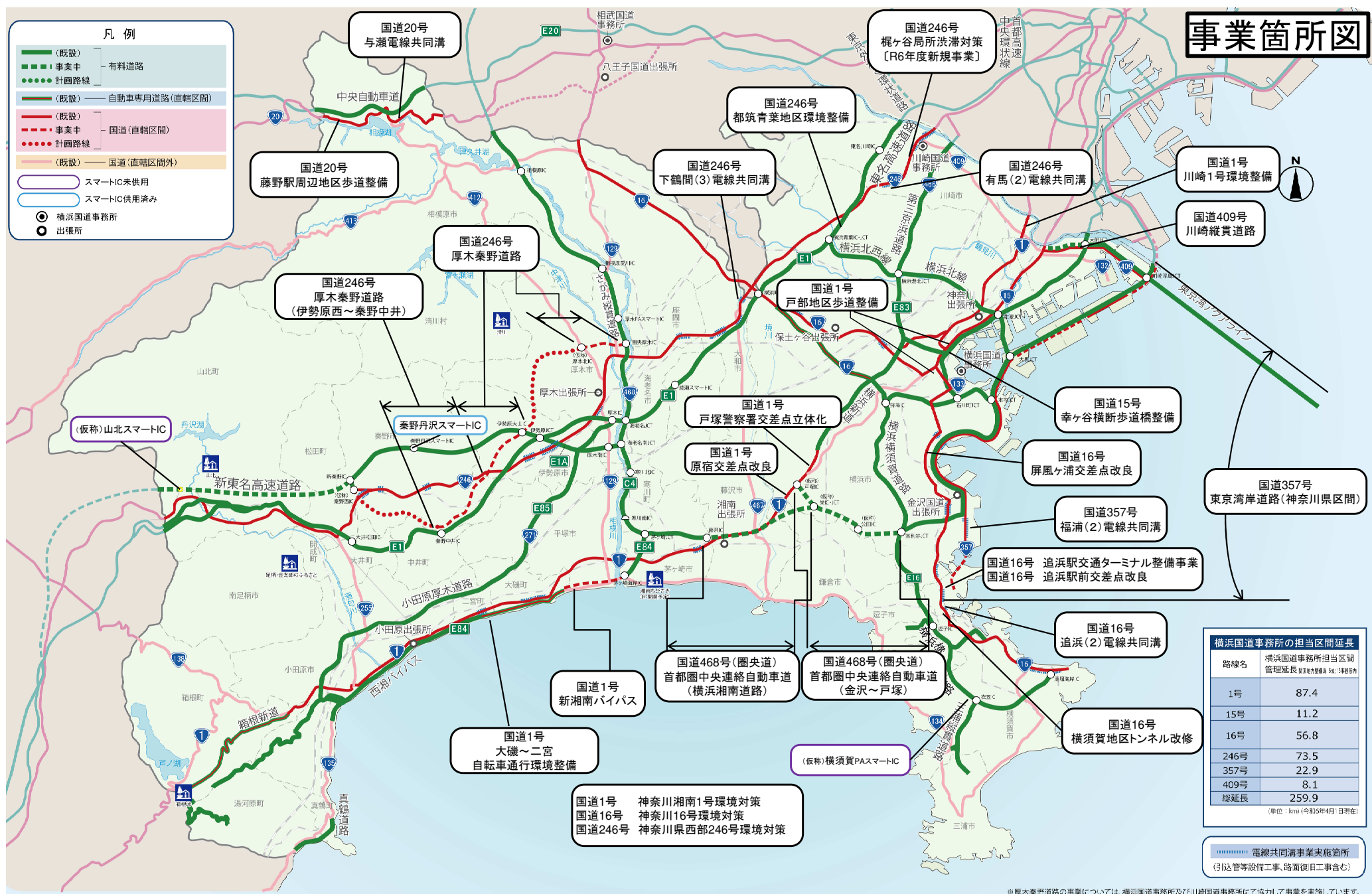
※ 上記の他、受託工事費、維持管理費、調査費等があります。

※1 関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融資を活用して事業を実施しています。

※2 一般国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて事業を実施しています。事業費については、両事務所の総計を記載しています。

※3 一般国道16号神奈川16号環境対策は、横浜国道事務所及び相武国道事務所にて事業を実施しています。事業費については、両事務所の総計を記載しています。

神奈川県内の主な直轄事業（道路）は、下図の箇所において実施しております。



国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

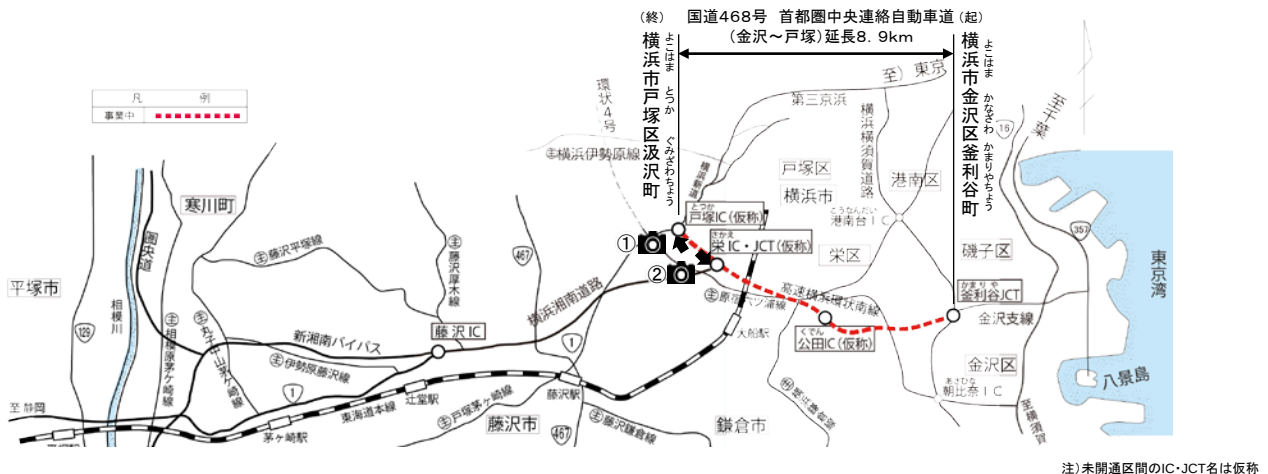
令和6年度事業費:40.00億円

概要

圏央道[金沢～戸塚]【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性向上や交通渋滞の緩和、地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化に寄与することを目的とした道路で、東日本高速道路(株)と共同で事業を実施※しています。

令和6年度の予定

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部区間は東日本高速道路(株)が担当)について、調査設計、用地買収、栄IC・JCT橋梁上部工事及び栄・戸塚地区改良工事等を推進しています。



①【戸塚IC(仮称)付近状況(令和6年3月撮影)】



②【栄IC・JCT(仮称)付近状況(令和6年3月撮影)】

※関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融资を活用して事業を実施

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[横浜湘南道路]

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)
令和6年度事業費:186.88億円

概要

圏央道[横浜湘南道路]は、既に開通している区間の新湘南バイパス等と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担の適正化、国道1号の交通混雑緩和等に寄与する道路で、東日本高速道路(株)と共同で事業を実施※しています。

令和6年度の予定

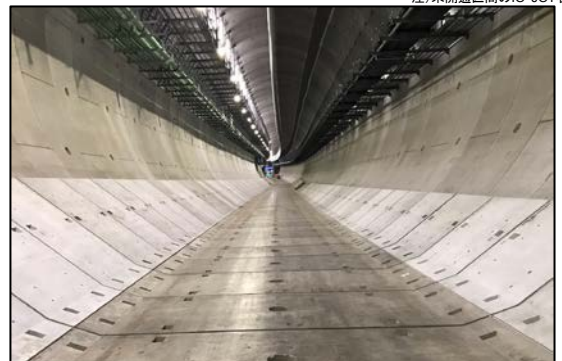
横浜市栄区田谷町～神奈川県藤沢市城南一丁目までの延長7.5kmについて、調査設計、用地買収、横湘トンネル工事、小雀・藤沢地区改良工事を推進しています。



(注)未開通区間のIC・JCT名は仮称



①【藤沢IC付近状況(令和6年3月撮影)】



【トンネル工事状況(令和6年3月撮影)】

※関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融资を活用して事業を実施

国道246号 厚木秦野道路

(厚木市、伊勢原市、秦野市)

令和6年度事業費(厚木区間、伊勢原区間):65.00億円

令和6年度事業費(伊勢原西～秦野中井):10.00億円

概要

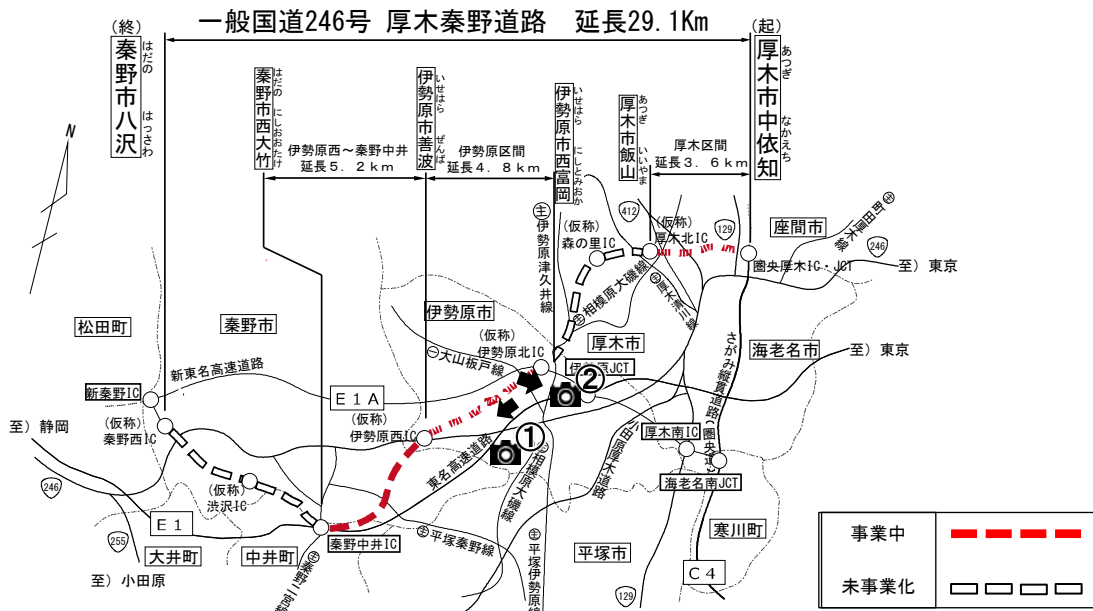
国道246号厚木秦野道路は、国道246号の交通混雑の緩和を図るとともに、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成するバイパス事業です。

令和6年度の予定

厚木区間は、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事を推進します。

伊勢原区間は、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事を推進します。

伊勢原西～秦野中井は、調査設計、用地買収を推進します。



①【鈴川橋上部工(令和6年3月撮影)】



②【埋蔵文化財調査(令和6年1月撮影)】

※厚木秦野道路の事業については、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて協力して事業を実施しています。

国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、川崎市、横須賀市)

令和6年度事業費：21.7億円

概要

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結ぶ延長約82.7kmの幹線道路であり、東京湾岸道路の一部として位置付けられています。

本道路の整備により、都市内の交通渋滞緩和、空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス向上など、物流の効率化を図ります。

これまでに川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島町までのうち、暫定整備も含め延長23.0kmが2～6車線で開通しています。

令和6年度の予定

多摩川トンネルは、調査設計、浮島地区において改良工事を推進します。

八景島～夏島地区は、調査設計、夏島地区において改良工事を推進します。

扇島地区については、川崎市をはじめとする関係機関と連携し、事業着手に向けて調整を進めます。



①【夏島地区付近(令和6年1月撮影)】



②【多摩川トンネル付近(令和6年1月撮影)】

国道16号 おっ ぱま えき 追浜駅交通ターミナル整備事業

(横須賀市)

令和6年度事業費：1.00億円

概 要

国道16号 おっ ぱま えき 追浜駅交通ターミナル整備事業は、分散するバス・タクシー乗降場の集約によるモータルコネクト環境の整備を目的とした事業です。

えき・まち・みちが一体となった空間を官民連携で具体化し、モータルコネクト環境の整備や、駅周辺の混雑緩和・交通円滑化、回遊性の向上、賑わい・魅力向上、防災機能の向上等のため、交通ターミナル整備及び国道上空の歩行者デッキ整備を進め、未来を見据えた駅前拠点の創出を目指します。

令和3年3月に新たな交通ターミナルの整備について「追浜駅交通結節点整備事業計画」をとりまとめ、令和3年11月に関連事業である「国道16号追浜駅前交差点改良事業」とともに周辺住民に対して地元説明会を開催しました。

令和6年度の予定

調査設計を推進します。

【事業概要】

- かながわけんよこすかし おっ ぱま ちやう おっ ぱま ほんちやう
- ・事業箇所：神奈川県横須賀市追浜町3丁目～追浜本町1丁目
 - ・面 積：約0.5ha
 - ・事業内容：交通ターミナル整備、歩行者デッキ整備 等



公共施設・防災施設



※1
平常時に市民の憩いの場、災害時に情報拠点となる空間を設置

交通ターミナル



バス・タクシー乗降場等を駅前に配置し乗り換え利便性を確保

歩行者デッキ



賑わい空間の創出や回遊性向上のためのデッキネットワークを整備

新たなモビリティネットワーク



※2
駅前や周辺の回遊性を向上させるモビリティネットワークを構築

駅前再開発



※3
駅前と新・既存再開発ゾーン間で必要な機能の役割分担を検討

市道追浜夏島線拡幅



交通量増加への対応のため、周辺まちづくりと連動した拡幅を検討

追浜駅交通結節点の将来の姿(イメージ)

国道16号 横須賀地区トンネル改修

(横須賀市)

令和6年度事業費：0.5億円

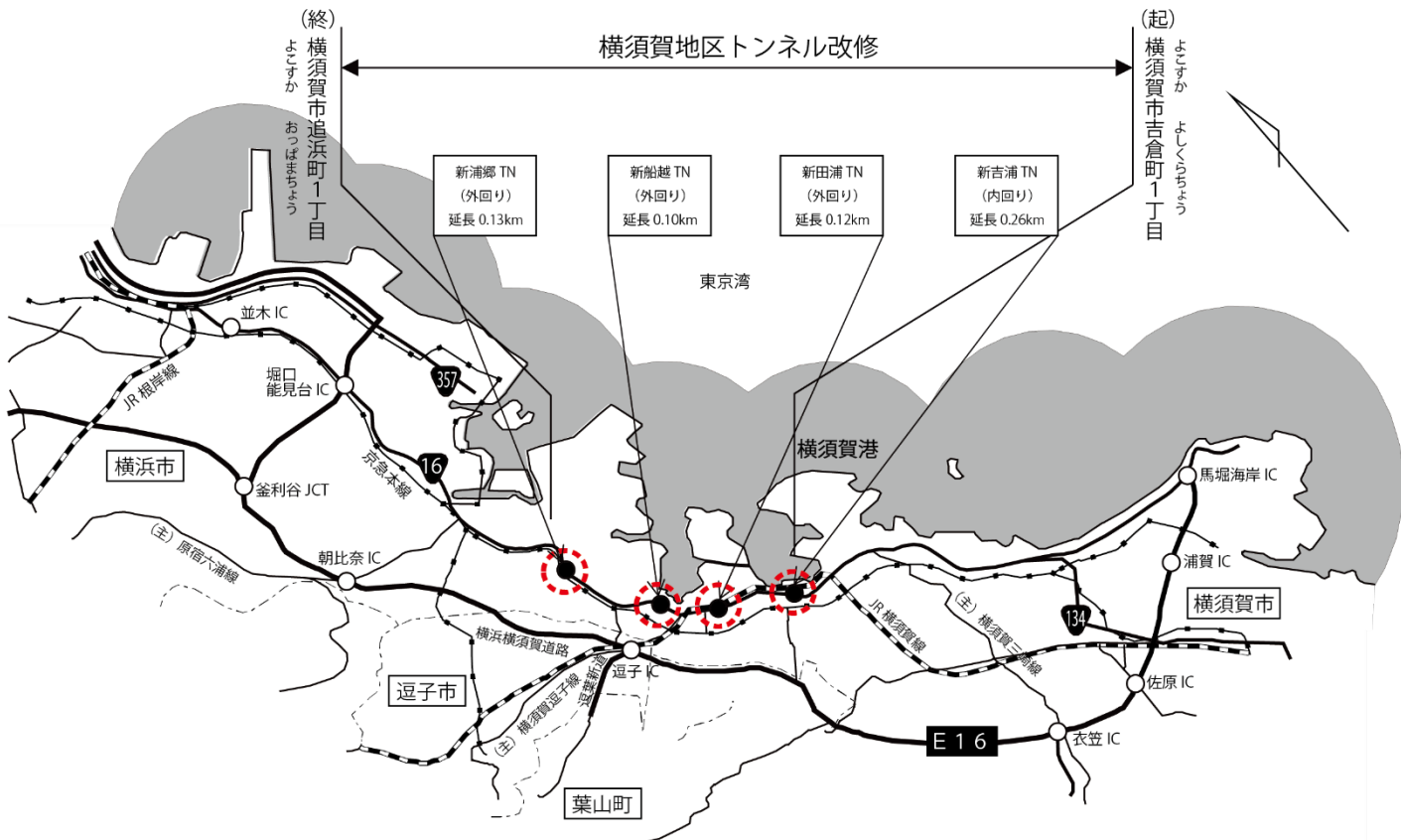
概要

国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を推進しています。

令和6年度の予定

調査設計を推進します。



国道246号 都筑青葉地区環境整備

(横浜市)

令和6年度事業費：4.50億円

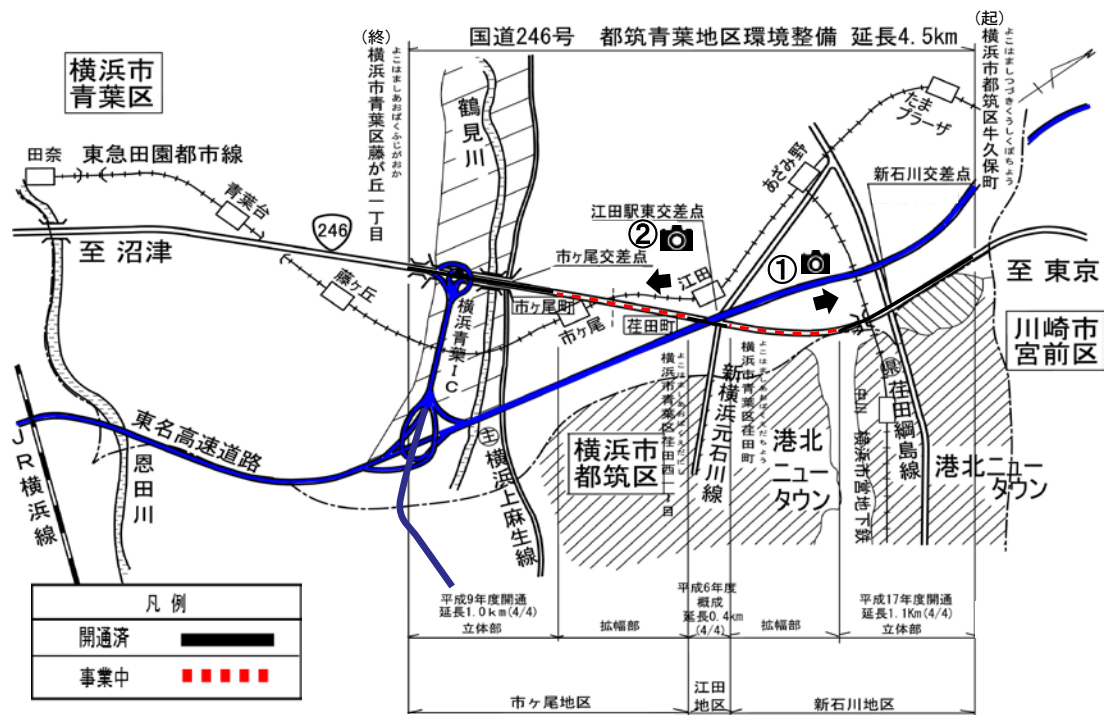
概要

国道246号都筑青葉地区環境整備は、交差点部の立体化や拡幅等を行い、東名高速道路へのアクセス向上、交通渋滞緩和、沿道環境の改善等を図る事業であり、横浜青葉ICの開通とあわせ、市ヶ尾交差点の立体化は平成10年に、新石川交差点の立体化は平成18年に開通しています。

令和6年度の予定

しんいしかわ

新石川地区(拡幅部)にて、調査設計、用地買収、環境整備を推進します。



① 現況の新石川地区(拡幅部)



② 整備後の市ヶ尾地区(拡幅部)

国道1号 川崎1号環境整備

(川崎市)

令和6年度事業費：0.45億円

概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

川崎市幸区小向仲野町～川崎市幸区柳町の間の延長2.8kmについて、環境対策を推進しています。

令和6年度の予定

調査設計及び環境対策工を推進します。



【歩道整備前の状況】
(川崎市幸区神明町下り線)



【歩道整備後の状況】
(歩道拡幅及び歩行者と自転車走行空間の分離)
(川崎市幸区神明町下り線)

国道16号 神奈川県16号環境対策

(横浜市、相模原市)

令和6年度事業費：2.25億円

概要

国道16号神奈川県16号環境対策は、神奈川県内の国道16号(延長73.4km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

神奈川県内では、国道16号の延長72.2kmの環境対策を推進しています。

令和6年度の予定

調査設計及び環境対策工を推進します。



国道246号 ^{かじがや} 梶ヶ谷局所渋滞対策[R6年度新規事業]

(川崎市)

令和6年度事業費：0.1億円

概要

一般国道246号 ^{かじがや} 梶ヶ谷交差点は、一般国道246号と市道が交差する主要渋滞箇所となっている交差点であり、下り方面では右折滞留車両による直進阻害等が発生しています。

梶ヶ谷局所渋滞対策は、下り方面の右折専用車線の延伸を実施する事業です。

令和6年度の予定

調査設計を推進します。



▲国道246号下り方向の
右折車線の混雑状況



▲国道246号下り方向の
右折車線滞留車両の直進阻害状況

交通安全対策事業

国道1号 戸部地区歩道整備

(横浜市)

令和6年度事業費:1.60億円

概要

本事業は、国道1号 横浜市西区中央一丁目から浜松町までの延長約0.6kmの区間において、車道拡幅に合わせ歩道と自転車通行帯を整備するものです。

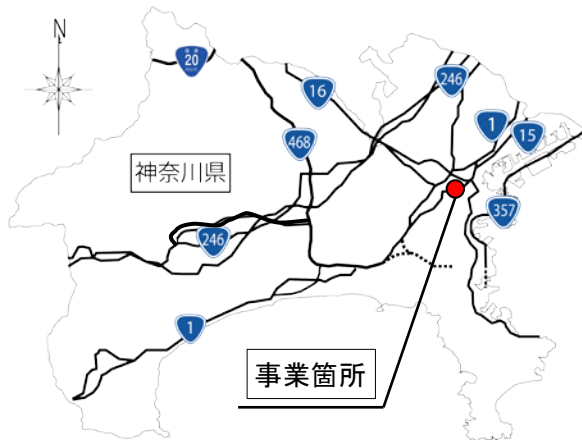
令和6年度の予定

調査設計、工事を推進します。

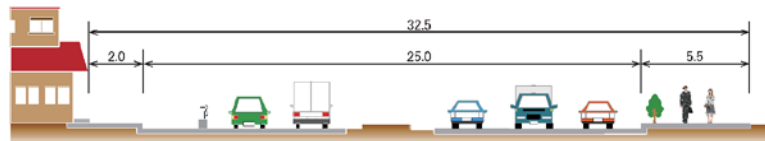
【現況写真①】



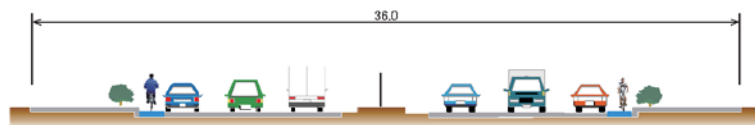
【現況写真②】



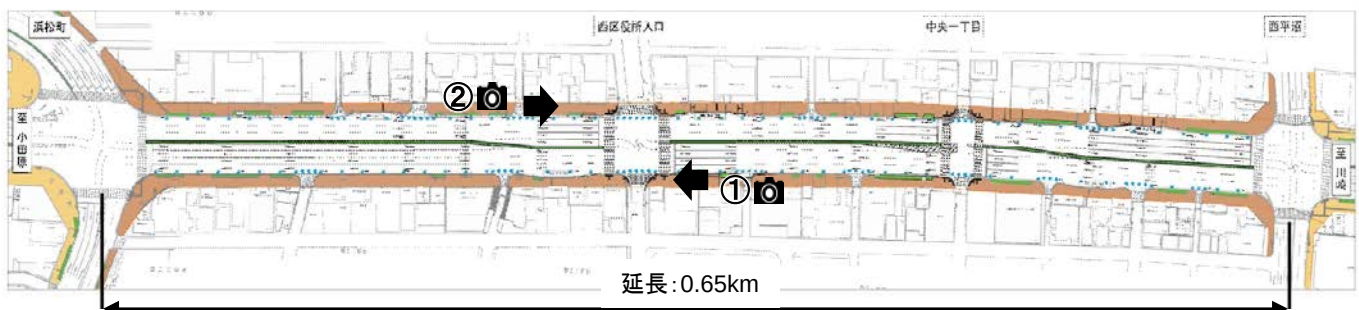
【現況横断面図】



【計画横断面図】



【計画平面図】



交通安全対策事業

国道20号 藤野駅周辺地区歩道整備

(相模原市)

令和6年度事業費:3.40億円

概 要

国道20号藤野駅周辺地区歩道整備は、国道の線形改良及び歩道設置をすることにより、歩行者の安全・安心な通行空間の確保を目的とした神奈川相模原市小淵地先における延長約0.34kmの交通安全対策事業です。

令和6年度の予定

調査設計、用地買収及び工事を推進します。

【位置図】



【平面図】



①_現況写真



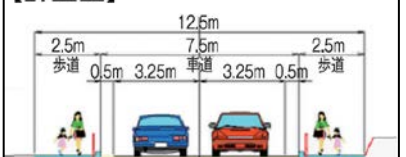
②_R5年度実施箇所



【現況図】



【計画図】



電線共同溝事業

国道246号下鶴間(3)電線共同溝 他38箇所
令和6年度事業費:23.23億円

概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等を図ることを目的として整備を推進します。

令和6年度の予定

今年度も引き続き、調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

【主な事業箇所】

国道 16号	おっぱま 追浜(2)電線共同溝
国道 20号	よせ 与瀬電線共同溝
国道 246号	ありま 有馬(2)電線共同溝 【R6工事着手】
	しもつるま 下鶴間(3)電線共同溝 【R6工事着手】
国道 357号	ふくうら 福浦(2)電線共同溝 他34箇所

電線共同溝整備の事例 (国道357号 ^{しんいそご}新磯子電線共同溝)



平成17年10月撮影

【整備前】



平成28年9月撮影

【整備後】

維持管理

概 要

横浜国道・相武国道事務所では国道1号、15号、16号、20号、246号、357号、409号の7路線、延長約290kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、清掃、路面補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックなどを中心に長寿命化等予防保全対策、また、緊急に実施すべき対策として、法面对策工事等を実施します。



巡回
(落下物回収)



清掃
(路面清掃・排水施設清掃等)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時の巡回や緊急処理を推進し、交通の安全確保を行います。
降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



冠水処理
(国道1号)



除雪作業
(国道1号箱根新道)



おおたるみとうげ さがみ こ
除雪作業
(国道20号大垂水峠・相模湖)

維持管理

維持管理に係る取組

横浜国道・相武国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しています。

道路美化活動に係る啓発活動等

【国道20号^{こうしゅう}甲州街道クリーンデー
における環境美化活動の例】

地域住民の皆さんと協同し、道路の環境美化を実施しています。

取り組み活動の様子



※令和5年11月26日実施

【国道357号^{ひがしおおぎしま}東扇島地区
における清掃活動の例】

川崎市、川崎臨港警察署および地元関係団体と共同して、清掃活動を実施しています。

取り組み活動の様子



※令和5年5月26日実施

【国道246号^{かねだ}厚木市金田地先における清掃活動の例】

地元小学校のPTA、地元自治会、厚木市及び厚木警察署と協同して実施しています。

取り組み活動の様子



※令和5年10月21日実施

維持管理（長寿命化対策）

主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁などの道路施設において定期的に点検を実施し、施設の機能に支障を及ぼす劣化や損傷が生じている箇所の補修を行います。

橋梁点検状況（遠景）



橋梁点検状況（近景）



【国道20号 橋梁点検車による橋梁点検事例】

橋梁補修 施工前



老朽化による
伸縮装置からの漏水

橋梁補修 施工後



伸縮装置取替

【国道20号 第一棧道橋における補修事例】

橋梁補修 施工前



老朽化による
桁端部の腐食

橋梁補修 施工後



主桁端部の部材補強
再塗装

【国道1号西湘バイパス 小余綾高架橋における補修事例】

こ ゆるぎ

維持管理（法面对策工事）

主な事業

豪雨により土砂災害等が発生するリスクを回避するため、法面崩壊等の恐れのある箇所について法枠工等の法面对策を実施することで、道路法面・盛土等に関する緊急対策などを推進します。

着手前



対策完了



【市街地部の法面对策】
国道1号 横浜市鶴見区
コンクリート吹きつけによる法面对策

法面对策工 施工中（全景）



【山間部の法面对策】
国道20号 相模原市緑区
吹付法枠工+アンカーによる法面对策

災害対応

「無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）協定」に基づく飛行訓練

首都直下地震発生時等における道路啓開候補路線※並びに管内管理路線の被災状況把握において使用する無人航空機情報の伝達等について活動時に支障がないよう備えるため、協定会社と共に飛行訓練を実施しております。

※首都直下地震発災時における優先的に道路啓開を実施する候補となる路線



協定会社への訓練説明状況



無人航空機(ドローン)飛行訓練

災害を想定した実動訓練の実施

大規模地震及び大雪等の災害時に備えて、道路啓開作業時に支障となる放置車両移動訓練を協力会社等と実施しております。



フォークリフト(アタッチメント付)による放置車両移動訓練



牽引ロープによる放置車両移動訓練

横浜国道事務所においては、防災力の強化を図るため、大雪時、地震時などの災害を想定した建設機械等による車両移動の実働訓練を実施しています。

道路啓開イメージ



道路啓開前



道路啓開後

- 22/24 -

ホイールジャッキによる放置車両移動訓練



災害支援活動

TEC-FORCE派遣

TEC-FORCEは、大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月に創設されました。主な活動内容は、大規模な自然災害等に際して、被災状況の把握、被害の拡大や二次災害の防止、被災地の早期復旧等について技術的な支援を行います。隊員は各地方整備局等の職員であり、全国で16,186名(令和5年4月現在)が予め任命されています。

令和6年能登半島地震

・3事務所から合計で39名が派遣を実施しております。



TEC-FORCE派遣(出発式)



活動状況(志賀町)



活動状況(能登町)



市長との面談



調査結果の手交(能登町)

<参考>神奈川県内の直轄国道における各事務所・出張所の担当路線

